

人との繋がりを大切に

何事も真面目に取り組む

有限会社 香妻塗装工業

代表取締役 香妻 大志郎 さん

住所…大川市大字一木92413
TEL…094418718224
FAX…094418718224



今月の夢追い人は、有限会社香妻塗装工業の香妻さんにお話を伺いました。

香妻塗装工業は創業してから43年目のこと。

「私の父が始めた会社です。父はもともと宮崎県から大川へ家具職人見習いとして就職していましたが、建築塗装会社へ転職し、私が生まれてすぐの頃に独立しました。なので、会社と私は同じ年です」

香妻さんが社長に就任されたのは、3年前のこと。

「父が65歳を迎えたことを期に社長に就任しました。正直、心の準備とかは出来てなかったです。ただ実際に税理士の先生と決算の話をしたり、銀

行へ出向いたり。社長になったことで経営のことについて表に出ることが多くなり、それにつれて自覚と覚悟ができていきました。以前は父と母が主に関わっていたのですが、徐々に私と妻が関わるようになってきています。父と比べると現場での経験や社長としての経験もまだまだなので、父や周囲の先輩方から学んで行きたいです」

常に学ぶ姿勢で仕事に励まれている香妻さんですが、若い頃は塗装業とは全く違う仕事に就きたいと考えられていたそうです。

「学生の頃は漠然と学校の先生になりたいと思っていました。一番の理由は学校が楽し





かったからでしょうか。教師になるには大学進学が必須ですが、どうしても受験勉強に乗り気になれなくて。それに對して両親も何も言いませんでした。これからどうするかって時に、父から「うちの仕事をしてみらんか」って言われたのが塗装業を意識し始めたきっかけです。

それまでは仕事を継ぐ気も興味ありませんでしたが、父が立ち上げた会社を守っていきたくて思いました。とはいっても塗装に関しては建築のことも全くわからない状態でした。会社に入ってから、まずは現場で経験を積みまし

た。父をはじめ、先輩の職人さんから厳しく指導してもらいました。現場で経験を積んでいくなかで、国家資格も取得しました。仕事をしながら勉強するのは大変でしたが、その資格があるかないかで受けられる仕事の幅が違ってくるので、挑戦してよかったです」

では、香妻塗装工業ではどういった場所で、どのような塗装を行っているのでしょうか。「主には個人宅やアパートの塗装です。ほかにも学校や橋梁などの公共建築物の塗装も

行っています。それから地域性もありますが、大川は木工の街なので木工所の工場や倉庫、事務所の塗装工事を行うこともあります。近年だと災害も起こりうるような豪雨の影響や、劣化した壁や屋根からの雨漏りの工事を行うことも増えてきました。

またこれからの暑い夏季節に入るにあたっては、遮熱塗料の依頼もここ数年は増えてきました。工場の製造現場は、夏の強い日差しがあたり屋内の温度が上昇しやすくなります。それを抑えるために屋根や壁に遮熱塗料を塗ることで、屋内の温度上昇を抑えることができます。実際に塗った部分は直に触れても熱くならず、逆にひんやりと感じるくらいです。屋根や壁が熱くならないので、屋内はもっと暑くならずにすぎます。木工所の工場などで最近も施工しましたが、とても喜んでいただきました」

塗装業は建築関係の仕事でもあるため、大工工事や電気・水道工事など様々な専門工事が必要な場合もあるそうです。「そういった場合は、他の業者さんをお願いしています。

父の代からお願ひしている協力業者さんもありますが、所属している商工会議所青年部のメンバーにお願ひすることが増えてきました」

青年部は異業種の方と出会い、繋がりが持てる機会に恵まれていて話された香妻さん。青年部の繋がりがきっかけで、珍しい塗装も行ったことがあるとのこと。

「長崎の路面電車の塗装を現地まで行き、約2週間、職人さんと泊まり込みで作業をしたことがあります。青年部の先輩から頂いたお話でしたが、その繋がりがなければ恵まれなかった機会だと思いません。本当に貴重な経験をさせていただきました」

もともと青年部に入る気はなかったが、いざ入会したら気持ちは一転したそうです。「もちろん地元の高級生もいますし、お世話をしてくれる先輩方にも恵まれていました。今は先輩方も出てきて、これまで先輩方が築かれてきた大川らしさのある青年部が引き継がれていっていると感じます。異業種の集まりだからこそかもしませんが、本

当に良い縁に恵まれて、素敵な仲間と時間を共有していくなかで仕事にも繋がりが、とても充実していますね。仲間と話をするたびに、みんな大川という街が好きなんだなと思います。そのうえ、魅力的な人が多い。本来の仕事も青年部活動に對しても真面目な人が多いので、そういった部分でも刺激をもらっています」

仕事にも青年部活動にも真面目に取り組まれている香妻さん。そんな香妻さんの夢はなんでしょうか。「昔から目の前の目標というのはありますが、語れるほど大きな夢がなくて。

ただ周りの人の楽しそうな顔を見るのが好きなので、それを共有していったらなと思います。お客様はもちろんです、家族、従業員、仲間。みなさんの幸せな顔を見たり、楽しく幸せな時間を一緒に過ごしたりできることが続いている方がいいなと思います。これから時代が変わっていくなかで、人が求めていくことも変わっていくと思いますが、そこに対応できる会社でありたいですし、対応できる人間でありたいです」